

第4回

# ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ

受賞者  
決定!

パパのステキな  
子育てエピソード満載!



みえの育児男子  
フォトコンテスト  
ベストショット賞決定!



# ファザー・オブ・ザ・イヤー 結果発表!

in みえ

夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高いと言われていることから、三重県では少子化対策の重要な項目の一つとして、「みえの育児男子プロジェクト」と銘打ち、男性の育児参画の推進に取り組んでいます。また、男性の育児参画は、夫婦の絆を深め、家庭における子どもの育ちにも大きく関わっています。

「ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ」は多くの県民の皆さまに、男性の育児参画について関心を持って

いただくこと等を目的に、男性の育児参画にかかるエピソード等をご応募いただき、多くの共感を得られた方々を表彰し、その内容を紹介する取組です。

4回目となる今回は、新たに男性の育児休業にスポットを当てた「パパの育休」部門を設け、幅広くエピソードを募集したところ、大変多くのご応募をいただきました。ご応募いただいた皆さま、本事業にご協力いただきました企業や団体の皆さまに対し心より感謝申し上げます。

## 部門紹介

<p><b>01</b> <b>パパの育休</b> 部門</p> <p>育休中にどんなことをした？ ハブニングや工夫したことなど 育休中のエピソードを紹介！</p>	<p><b>02</b> <b>みんなの 子育てエピソード</b> 部門</p> <p>パパ流子育てのアイデアや 子育ての楽しみ方など 幅広い「パパ話」を紹介！</p>	<p><b>03</b> <b>わが社の イクボス</b> 部門</p> <p>部下の「仕事と家庭の両立」の 背中を押す、ステキな 上司・先輩の話を紹介！</p>
--	--	---



- P.03 **パパの育休部門** 四日市市 大庭 正寛さん  
育休を自分のステップアップのために！
- P.04 **みんなの子育てエピソード部門** 松阪市 中村 仁さん  
有言実行！夢の「シェア畑」で子どもとの時間を作る
- P.05 **みんなの子育てエピソード部門** 多気町 川島 昌平さん  
育児は任せろ！1人では不安でも3人寄せれば…！～月に1回は父の日～



- P.06 **パパの育休部門** 津市 北村 光男さん  
育児をいかに楽しくできるかをパパ自身の方法で解決！
- P.07 **みんなの子育てエピソード部門** 菰野町 内田 恭史さん  
メタボも解消!?『我が家のパパ』が『地域のパパ』なるステキな行動！
- P.08 **わが社のイクボス部門** 鈴鹿市 イケダアクト株式会社 田中 基子さん  
ひとりのばあばの「孫預かり」を会社全体でフォロー

## 👑グッドエピソード賞

### パパの育休部門 P.10～

ママのサポートではなく自分が主体となり子育てを楽しむ！

津市 別所 慎介さん

僕の姿を見て、みんなの意識や常識が変わってくれば…

鈴鹿市 田中 浩司さん

妻から「一緒に苦労してくれてる感じが嬉しい」と対等なパートナーとしての絆が深まった！

津市 福永 喜一さん

### みんなの子育てエピソード部門 P.12～

仕事で疲れていても絵本を通して、親子のコミュニケーション！

菰野町 伊藤 和洋さん

稀にしか会えないお父さんの愛情深い考えに感動！

菰野町 坂口 徹さん

オセロを通して親子の会話 共通の趣味で楽しむ時間

四日市市 出口 亮太さん

娘にピアノを教えてもらいパパ自身も楽しみながら子どもと趣味を共有

鈴鹿市 喜田 英明さん

ママと子どもの接する時間をうまく作ってくれるパパの育児スタイル

津市 松林 秀典さん

パパならではの体を使った遊びで父子のキョリを縮めています

四日市市 亀山 透さん

一緒に野菜を育てて「ママと」から「パパと」へ

松阪市 関口 信人さん

家族のピンチにフレックスタイムを利用！家族を支えたパパ

津市 中川 正之さん

### わが社のイクボス部門 P.16～

チームワークで仕事をすることで意識と環境が劇的に変化！

ザ・ビッグ菰野店 川會 尚也さん

ワークライフマネジメント推進のため、実効性の高い取組を実施！

日本政策金融公庫 津支店 田宮 良則さん

## 👑みえの育児男子フォトコンテスト ベストショット賞 P.17～

### 協賛企業

(株)伊賀の里 モクモク手づくりファーム・NEMU HOTEL & RESORT・里創人 熊野倶楽部

リゾーと

大賞

### パパの育休部門

四日市市

大庭 正寛さん

子ども 0歳、2歳

育休期間

6ヶ月

共感 Point

- 夫婦できちんと話をして、家事を分担しているところが◎
- 育児に専念するだけではなく、育休後のキャリアのことも考えて過ごしているところが素晴らしい。
- 会社や上司も、育休取得を応援していることが伝わってくる。



## 育休を自分のステップアップのために!

Point

### 育休休業に向けて取り組んだこと

- ①取得の決意をした後、上司に相談。業務やキャリア、家庭の状況について話し合い、会社からこんな配慮をしていただきました。
  - 会社の情報をリアルタイムに得るため、タブレット端末の貸与。
  - 事業所訪問デーを設け、育休中も訪問しやすい環境づくり。
  - 育休中の能力向上のため、資格取得を勧められる。⇒ITパスポート、危険物取扱者乙種第4類、第一種衛生管理者の3つの資格を取得!
- ②育休休業開始までの間、誰が見ても分かる仕事をめざし、業務の見える化に努める。

### 失敗談! 良かれと思ってやった家事が...

食事作り、食器洗い、洗濯...何でもやろうと意気揚々と行動。これが、失敗の始まりで妻にとってはさらに負担を増やすことに。例えば食器を洗うだけできちんと水切りがされていなかったり...私が家事を行った後に妻がやり直すという効率の悪いことを繰り返していました。そのため妻からやり方を習い、それぞれの得意分野で家事を分担することで二度手間をなくすことをめざしました。

### 仕事に復帰してから変化はあった?

育休を通して自分のペースではできない大変さがあることを経験したことで、少しでも仕事の効率を上げ、工夫して時間を生み出すことに取り組むようになりました。優先順位を決め、仕事に向き合うことは、育児や家事と共通で私の仕事の指針にしています。仕事から帰ってきたら育児と家事のできることを妻と分担し協力し合い、子どもたちとは眠るまでのわずかな時間を思いっきり楽しめメリハリがつくようになりました。



大賞

### みんなの子育てエピソード部門

松阪市

中村 仁さん

子ども 2歳

推薦者 中村 未来さん(妻)

共感 Point

夫の仕事の関係で三重県に引越ししてきて早くも5年。昨年念願の第一子が生まれた直後から「無農産野菜を我が子に食べさせたい」という夫の想い(単なる思い付き?)から、近くの畑を借りて「シェア畑」を始めました。自然が多い三重県に居るからこそできる子育ての一つとして、野菜作りを始めましたが、初めは乗り気では無かった私も、今になればやってきて本当に良かったと思いますし、そういった面から子育てをしようしてくれる夫に感謝しています。三重にはキャンプや釣りなどを出来るところが本当に多いので、もう少し息子が大きくなったら色々な経験をさせていきたいと思っています。

- 三重県だからこそできた子育てエピソード。
- 子どもと一緒に生命を育む作業をしているところがすばらしい。



## 有言実行! 夢の“シェア畑”で子どもとの時間をつくる

### その時のママの感想は?

いずれ、息子が歩けるようになったら一緒に野菜の苗を植え、自分で育てたものを収穫して食べる喜びも教えたいという、夢を持っていたようです。慣れない育児で大変なのに、畑よりも、もっと家事を手伝ってよね!!なんて思っていました(笑)

### 家族で畑デビュー!

息子が歩けるようになった春、家族皆で畑に苗を植えに行きました。畑の畝の上を平気で歩き回る息子...ようやく一本の苗を植えて無事“畑デビュー”を飾りました!一緒に畑に行って野菜を育てて収穫して食べる、という夫の夢が始まり、夫の目が輝いていたことを忘れません。今では大きなナスの実をつけるまでに成長しました。一緒に収穫し、それを大切に残さず食べる、という食育を教えることが出来ました!

### 有言実行!

### 離乳食はパパが育てた野菜!

夫の決意は意外と(?)固かったようで、息子が離乳食を食べられるようになる頃には、野菜をたんまり持ち帰るまでに成長してしまいました。まさに当初の念願の“無農産野菜”を我が子に与えられることになり、その時息子がおいしそうに食べている顔を嬉しそうに眺めているのを見て、ここまで子どもの事を想ってしてくれることに、私も嬉しい気持ちになりました。



大賞

みんなの子育てエピソード部門

多気町

川島 昌平さん

子ども 0歳

推薦者 川島 夏実さん(妻)

平日は子どもに関わりたくてもお風呂に入れるのが精一杯のパパ。

育休が取りにくいパパたちですが、月に1回は“父の日”として3家族のパパが集まって、計5人の子どもの育児をしてくれます。その間、ママたちは女子に戻って、まったくランチタイムを楽しんでいます。“父の日”を機に自信がついて、積極的に預かってくれるようになりました。「3人おったら何とかで大丈夫でよ!」「任せろ」の言葉に甘えています。頼れるパパに感謝です!!



共感 Point

- 1人では不安でも、3人いればという考え方が良い。
- 1回だけの集まりではなく、定期的に集まっているところがすばらしい。

部門賞

パパの育休部門

津市

北村 光男さん

子ども 1歳、3歳、5歳

推薦者 北村 美由紀さん(妻)

育休期間

三男誕生から7ヶ月



共感 Point

- 育休中のストレス解消法や家事の時短など自分なりのやり方や楽しみ方を見つけているところが良い。
- 夫婦で会議をし、きちんと話し合っているところに共感。

夫が育休取得を決めたきっかけは、3人目出産後の保育園が決まらずにいた時に「それなら誰もやってない様ないばらの道へ進もう!」と夫自ら声を上げた事が始まりでした。私たちは夫婦共働きで、もともと、育児には積極的な夫でしたので、私もこの人なら大丈夫だろうと安心しきっていましたが、現実には予想以上に大変でした。ですが、困難を乗り越え、お互い育児の大変さとおもしろさに共感あえて「ありがとう」という言葉が今まで以上に増えたように思います。

「育児は任せろ! 1人では不安でも3人寄れば…!」

～月に1回は父の日～



そもそもきっかけは??

もともとパパたちは地元の友だちで仲が良く、ママたちも自然と仲良くなり、3家族で遊ぶ機会も多い仲でした。自然な流れで「父の日」ができ、今では「来月はどうする?どこ行く?」とパパ同士で計画をして楽しみにしているようです。



父の日では、どんなことをしているの?

ママたちがランチに行く時間に合わせて、パパにバトンタッチ!ベビーカーを押して近所をお散歩したり、自然と遊んだり、3人の誰かのうちでお昼ご飯を食べさせ、おもちゃで遊んだり。パパ同士も「お風呂で〇〇したら喜んだよ」など子育ての情報交換の場になり、家に帰ってきたパパは育児に詳しくなって帰ってきます。

育児をいかに楽しくできるかをパパ自身の方法で解決!

育児の大変さをどうやって乗り越えた?



育児には積極的な夫ですが、現実にはそう甘くはなかったようです。男性が1日育児をするという大変さに加え、次

男のイヤイヤ期等が重なりお互い想像以上に大変でした。

乳児の予防接種、保育園の送迎、慣れない炊事、洗濯、それは前途多難でした。そんな中でも夫はどうしたら一番ストレスなく楽に家事を進められるか、自分なりのやり方を見つけていったようです。時短家電の購入、洗濯は寝静まった夜に、長女のお昼寝中に夜ご飯の準備、試行錯誤の毎日でした。育休の大変さに何度もぶちあたり、夫婦間で会議をし、改善策を話し合った事もありました。

7ヶ月の育児休業を終えて…

育児休業が終わる頃には「もうすぐ終わりかあ」とか「3人目は俺がここまで育てた」「俺にできないのは母乳を出す事だけだ」と言っていた夫。今では、保育園が決まり、夫は仕事に復帰している日々ですが、今まで以上に育児に協力してくれている夫や時短家電に助けられ、3人の子どもたちと夫と5人で幸せに暮らしています。

なかなか理解が進まずまだまだ難しい男性の育休取得ですが、それにご理解とご協力をいただいた夫の会社、支えていただいた周りの方々に感謝し、これからも続く仕事と育児の両立を家族で支え合っていて、みんなが笑顔でいられる家庭になりたいです。



## 部門賞

### みんなの子育てエピソード部門

菟野町

内田 恭史さん

子ども 3歳

推薦者 内田 真智子さん(妻)

近所でもいろいろな理由でひとり親家庭が増えていますが、でも、子どもたちにとって家庭環境は関係なく、めいっぱい子ども同士で遊んでいます。

我が家の3歳の息子は近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんが大好き。休日はパパを引き連れて、お兄ちゃん、お姉ちゃんの自転車遊びや川遊びに交せてもらって、遊んでいます。

その瞬間、『我が家のパパ』は『地域のパパ』になります！



共感 Point

- 子どもを通して地域のつながりを大切にしている。
- 育児をポジティブにとらえて楽しんでいることが伝わる。

## メタボも解消!? 『我が家のパパ』が『地域のパパ』になるステキな行動!

### 「地域のパパ」って?

例えば、5人の子どものパパ一人が相手にもあります。ひとり親家庭で、日頃ママが忙しいお兄ちゃんは力いっぱい『地域のパパ』とプロレスごっこ、いつもは面倒見のよいお姉ちゃんは『地域のパパ』にちょっぴり甘えたりします。

Point

### 「地域のパパ」にはいいことがいっぱい!

- 我が家の息子は大好きなお兄ちゃんやお姉ちゃんと遊べる
- 日頃忙しいママたちも、この日は安心してゆっくりすることができる
- 最近メタボ気味のパパはダイエットにもなり一石二鳥!

『地域のパパ』は最近希薄になりつつある地域のつながりを再び強くしてくれるかもしれません。そんな『地域のパパ』である夫がちょっぴり自慢です。



## 部門賞

### わが社のイクボス部門

鈴鹿市

イケダアクト株式会社

田中 基子さん

私たちの会社は従業員数32人、内女性4人です。その中でも、子育て真っ最中の女性が2人、他県で子育て中の孫支援ばあばが1人います。事の発端は、ばあばが夏休みに他県の孫を1人預かる事から始まりました。しかし、彼女もフルタイムで働いています。幼稚園を一人自宅に置いていく訳にもいかず、会社へ連れて来ました。それを知った別の事務員が、それならうちの子どもたちも連れて来ます!と言ってくれ、急遽、にわか保育室開催の運びとなりました。

共感 Point

- 子どもだけでなく、孫のいる社員のことも考えているところがすばらしい。



## ひとりのばあばの“孫預かり”を会社全体でフォロー

### 事の発端は“孫の夏休み”

あるばあばの娘は大阪で3人の幼稚園児の子育てをしながらパートで働いており、子どもの夏休みに問題は発生しました。その幼稚園で子どもを預かって貰うと、一日一人3500円、3人目は市の補助のおかげで免除されますが、それでも、ママが働くためには一日7000円かかります。時給1000円にも満たないので、預けるだけ赤字になります。パートを休んで自宅で子育てをしていたらとも考えますが、それでは正社員をめざすママに差し障りがあります。そこで鈴鹿のばあばが上の子どもを1人だけでも預かれば、赤字にならずに済むということで、孫の希望もあり1人だけ預かることになりました。

60代でがんばっているばあばの応援もうれしい!



### 会社に急遽、にわか保育室を設置!

事務所から目の届く打合せ室をにわか保育室へ変更、おもちゃを持参し、一日中、仲良く遊べました。手の空いた監督さんも時々、遊び相手になってくれたり、土建屋なので重機を見に連れて行ってくれたりして過ごすことが出来ました。従業員の皆さんの優しい理解で、それほど無理なく、わが社の子育て支援のみならず、他県の娘の子育てまで応援できました。わずかに一週間でしたが、子育て支援が比較的手軽に出来ました。



# グッド エピソード賞

4回目となる今回の「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」では、男性の育児休業や子育て、イクボスにかかるエピソードについてたくさんのご応募をいただきました。

男性の子育てや、イクボスの取組は、本当に多種多様で、それぞれの関わり方があります。

そこで、多くの方のエピソードをご紹介します。「みえの育児男子」の皆さんの取組のヒントとしていただくため、今回は「グッドエピソード賞」を新設しました！



## 共感 Point

- オセロ、ピアノなどパパが自信を持ってできることや好きなことを通じて育児をしているエピソードが多く良かった。
- 家事はできないが育児は主導的なパパ、ママのサポート役のパパなどさまざまなパパの関わり方が見えた。自分のできることから参加することが重要と感じた。



## パパの育児部門

津市 別所 慎介さん

子ども 0歳

育児期間  
2ヶ月

## ママのサポートではなく自分が主体となり子育てを楽しむ！

ママの仕事の都合上、育児休業の取得が困難であったため、夫婦で相談した結果、やはり少しでも長い間自分たちで面倒をみてあげたいという思いから、2ヶ月間私が育児休業を取得しました。育児休業を終えた今、ひとえに楽しかったという思いが大きいです。この機会でないと思えない経験が出来たことをとても嬉しく思いました。自

分の子どもとこんなにも長い時間を一緒に過ごすことはこの先あまり無いであろうと思うと、なにより貴重な時間だったのだと感じました。とはいえ新生児と一日のほとんどを二人で過ごすことは手探りの連続で、色々と不安もありました。その都度調べ物をし、夫婦で話し合いながら乗り越えていくことで絆も深まったように思います。



## 育児休業中に こんなことをしました！

- 一日を過ごす中で気付いたことや子どもの成長を毎日絵日記に。記録を読み返すことで、その時々感じたことや考えたことを鮮明に思い出す良いきっかけとなっています。現在も描き続けており、将来子どもと一緒に絵日記を読み返すことを目標としています。

## Point

### 育児取得にあたって配慮した点

- 金銭面での不安があったため、職場にしっかりと相談。給与や給付金についての手続きや疑問に細やかに対応していただいた。
- なるべく早い段階で上司と相談。それにより職場の方々の理解や、自身の業務の引き継ぎがスムーズに。

### 育児休業中に気付いたこと

自身の育児休業の特徴として、ママのサポートとしての取得ではなく自分が主体となって子育てを行うといったことがあったと感じました。それにより、一方が外で仕事をし、もう一方が家で子育てをするといった経験をお互いがすることができ、夫婦間での理解が深まりました。

## パパの育休部門

子ども 0歳、2歳

育休期間  
1年

鈴鹿市 田中 浩司さん 推薦者 渥美裕子さん(同僚)



私が推薦する育児男子は、第1子に続き、第2子の育休を取っている父ちゃんです。育休の間は、職場がひと月1回発行する情報紙へ育児経験談を投稿しています。沢山あるエピソードからこのエピソードを紹介させていただきます。

### 僕の姿を見て、みんなの意識や常識が変わってくれば…

0歳と2歳児を相手に全力でも追いつかず、世の中のお母さん方を改めて尊敬しています。

今一番気を引き締めるのが買い物に行く時。特に駐車場では子どもの安全のため、にらみを利かせてキョロキョロしながら歩きます。やっと到着した店内でホッとして買い物をしていると、すれ違う人に明らかに見られていると感ずることがあります。「お母さんはどこだろう?」とか、「時代も変わったもんだねえ」とか思われているのでしょうか。でも、僕の姿を見て違和感を感じ、考えてもら

うのはとてもいいことです。

「景色を変えて意識を変えよう。」という、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」の元所長鈴山雅子さんの言葉があります。まさか自分が景色そのものになるとは思ってもみませんでした。

僕を見て「最近男の人でも子育てすると聞いてたけど本当にいるんだな!」と思ってもらい、その人の意識や常識を少しでも変えられるよう、これからもにらみを利かせながら積極的にお出かけしたいと思います。

## パパの育休部門

津市 福永 喜一さん

子ども 2歳、3歳

育休期間  
3ヶ月

### 家事のスキルが上がって楽しいだけでなく、妻から「一緒に苦労してくれてる感じが嬉しい」と対等なパートナーとしての絆が深まった!

育児休業のキッカケは、結婚生活の中で妻がどれほど仕事に対して一生懸命にやりがいを持って取り組んでいるのかを感じたので、「出産とおっぱい以外は男でもできるよなあ」と自然に考えるように。一番のハードルだと思っていた会社への相談に際し、幸運なことに会社や上司の方々から理解があったため、逆に取得を後押ししてもらえました!



### 育児休業は メリットの方が大きい!

私にとって育児休業は、半年・一年キャリアが中断するデメリットよりも、残りの社会人人生・私生活に多くの好影響を与えるメリットの方が大きいものであると実感しています。育児休業は、今後65歳~70歳まで働くことが必要となる社会で、普段できない経験を積むいい機会になりました!

## みんなの子育てエピソード部門

子ども 3歳

菰野町 伊藤 和洋さん

推薦者 伊藤 恵美さん(妻)



### 仕事で疲れていても 絵本を通して、親子のコミュニケーション!

息子は絵本が大好き。大好きな特等席は、お父さんの膝の中。仕事で疲れていても、朝・昼・晩と笑顔で大きな声で、絵本を読んでくれます。特に車の名前の本が大好きで、お父さんのかけ声



「せーの! プルトーザー」「せーの! ぴーぼーしゃー」と一緒に真似して声に出します。お父さんと一緒に言葉が話せたときの嬉しそうなおこと。「もういっかい!!」と何度も何度も

同じ言葉や同じページを繰り返して読みます。

お父さんは、抱っこや寝かしつけ、できるときは、洗濯、風呂掃除、お皿洗いを手伝ってくれます。お父さんは、辛い大変な仕事でも、アンパンマンのように、前向きにがんばっています。家族を大事に支えてくれています。オンもオフもなんでも、楽しむその姿勢が、かっこいい。体をこわさずに、無理をしないでね。家族で、楽しい時間をたくさん過ごそうね!

## みんなの子育てエピソード部門

子ども 3歳

菰野町 坂口 徹さん

推薦者 坂口 詩乃さん(妻)



### 稀にしか会えないお父さんの 愛情深い考えに感動!

我が家のお父さんは、1年のうち半分以上をお仕事の都合で留守にしているサラリーマンです。時々会えるお父さんのことを息子は大好きです。

最近反抗的な態度が増え、母親の私では手に負えない場面が出てきました。私にとって一番遅く怖い存在が父親だったように、息子にとっても絶対的な存在がお父さんであって欲しく、夫に「厳しい態度で叱ってほしい」とお願いしました。すると、そのお願いを断られたのです。私はショックを受けたのですが、夫は「稀にしか会えない関係で、お母さんと同じ様に2人共が怒ってしまうと、息子の逃げ場がなくなってしまう」と。また「お母さんの様に叱ることはできないけど、お母さんがなぜ

怒ったのかを説明する役をするから」と言いました。夫の息子への接し方は、愛情深く、なおかつ冷静で、私とは違う役割を果たしてくれていましたし、私の中の父親像を夫に押し付けようとしていたことに気づかされました。

お父さんがこんなにも頑張って家族のことを思ってくれているので、私が出来ることは何だろう...と最近考えるようになりました。それは、お父さんが家に居ないことが多い我が家ですが、「お父さん大好き!お父さんってすごい!」という息子の中に自然と芽生えている思いを、これから大切に温めていくことだなあと感じています。

## みんなの子育てエピソード部門

四日市市 出口 亮太さん

子ども 6歳

### オセロを通して親子の会話 共通の趣味で楽しむ時間

私が帰宅し家族で食事を終えて、息子が寝る21時まで1時間程度。ここぞとばかりに「遊んで！遊んで！」とアピールしてきます。一週間で平日5時間しか息子との時間が取れず、寂しい気持ちと同時に濃密な時間を過ごしたいという想いがありました。

部屋の中ででき、かつ成長できる事は何かと考えた時に出てきたのがオセロ。想像力を鍛えるにはもってこいで、私自身も小さい頃は父親とオセロをよくしており鍛えられていました。

最初はオセロのルールも分からずルールを教える日々。息子はパパと遊びたいが為にルールを覚えるのに必死です。

でも段々と分かってくると今度はパパに勝ちた



い気持ち芽生え、「本気のパパに勝ちたいから手加減しないで」とのリクエストの通り大人気なく本気で勝つ日々。(笑) それでも悔しさを頑張って堪えて挑んできます。

しかし、1ヶ月もするとハンデはなくなり、しまいにはハンデ無しで本気の私に勝ってしまう時も出てきました。その喜んだ息子の顔を見た時のなんともいえない嬉しい気持ちが私のパワーになります。また保育園から帰ってくると「今日は〇〇君に勝ったよ！」と満面の笑みで報告してくれます。オセロを通じてたくさんの人と遊び、会話ができる姿を見るととても嬉しく思います。

## みんなの子育てエピソード部門

鈴鹿市 喜田 英明さん

子ども 3歳

### 娘にピアノを教えてもらい パパ自身も楽しみながら 子どもと趣味を共有

娘がピアノを習いだしました。僕自身ピアノが全く弾けず弾けるようになりたかったと思っていたので、娘が教室で習ってきたことを教えてもらっています。

子どもに教えてもらう、ということは日常生活の中ではなかなか少ないので、親子で肩を並べて座り一緒に一から覚えていく、同じ疑問や同じ悩



みを持ち成長していくことは、とてもいい刺激になると思っています。なので二人でピアノをする時間を大切にしています。

自分自身も楽しみながら関わることが育児のモットーです。いつか二人で上手に弾けるようになって連弾するのが夢です！

## みんなの子育てエピソード部門

子ども 4歳、6歳、9歳

津市 松林 秀典さん

推薦者 松林 愛さん(妻)

### ママと子どもの接する時間を うまく作ってくれる パパの育児スタイル



「子育て=子どもと関わること」と考えがちですが、「子育て=ママの手間を少なくする」というのも子育てなんだと、うちのパパを見て感じています。

朝の忙しい時間帯やお出かけ前の準備に大変な時に、子どもたちの髪を整えてくれたり、夕方晩御飯の準備に大変な時に子どもたちの宿題の相手をしてくれることは、私にとって手間が減りとても助かります。

また、遠足のお弁当にキャラ弁のリクエストに応えて作るなんてこともしてくれます。PTAや保育

園の役員などについても、パパが積極的に活動してくれるおかげで、私は家の事をしっかりとこなしていくことができます。また、「子どもの普通の学校生活が気になるから」と小学校の絵本の読み聞かせボランティアにも参加してくれています。

子どもと遊ぶ、かまってあげるといっただけでなく、ママが子どもと接する時間を作ろうと考えてくれる我が家のパパの育児スタイル。そのおかげで私と子どもたちの時間をつくることのできることにいつも感謝しています。

## みんなの子育てエピソード部門

子ども 0歳、3歳

四日市市 亀山 透さん

推薦者 亀山 満子さん(妻)

### パパならではの体を使った遊びで 父子のキョリを縮めています



今年の1月に第2子の長男が生まれてから、それまで21時前後の帰宅が定常だった夫が19時には帰ってきてくれるようになりました！

3歳の娘には出勤前、帰宅後に天井までの高い高いや両手をぐるぐるんなど体を使った遊びでしっかり遊んでくれます。夫が帰ってくるまでは「おかあさん、おかあさん」だった娘も、お父さんが

鍵を開けるガチャっという音で玄関にすっ飛んでいきます。

また、寝る前にはお父さんの絵本の読み聞かせがいつもの習慣になりました。読み終わったら、娘のそばで添い寝して、そのまま寝てしまっていることもしばしばです(笑)

0歳の息子はおむつ替えがお父さんの担当。うんちの時も、すっ飛んできて替えてくれます。

## みんなの子育てエピソード部門 子ども 3歳

松阪市 関口 信人さん

推薦者 関口 典子さん(妻)

### 一緒に野菜を育てて「ママと」から「パパと」へ

普段は仕事で忙しく、なかなか子どもとゆっくり接することのできないパパ。

そんな中「パパイヤじゃなくてママのほうがいい(パパもすきだけど)」が始まり、なんでも「ママと」と言い出し、寂しそうなパパ。

そんな時、急に「庭のプランターでトマトを育てよう」と子どもに提案し、いっしょにホームセンターへ。プランターなどを、いっしょに選び、帰ってきてから早速2人で苗を植えました。それからできるだけいっしょに水をあげたり、パパがいない時はママと水やり。子どもの大好きなトマトにしたので喜んで水やりをしていました。

収穫できるようになると、パパが帰ってくると

「トマト見よう!」と誘いに行く子ども。そして

いっしょに収穫して食べます。パパがいない時、赤く実っていてもあえてママと一緒に収穫せず「パパが帰ってきたらパパととろうね」と声かけをし、子どもも「パパと育てているからパパと収穫」と思うようになりました。

それ以来、「ママと」という場面も少し減り、「パパと」の場面も増えるように。そろそろトマトも終わりそうで「次何する?」とやる気満々でパパに話しています。



## みんなの子育てエピソード部門 子ども 5歳、8歳、11歳

津市 中川 正之さん

推薦者 中川 奈美さん(妻)

### 家族のピンチにフレックスタイムを利用! 家族を支えたパパ

長男がケガをし、リハビリが始まると週に4日、2時間程、次男と末っ子の二人で留守番をすることが増えました。

最初のうちは二人とも頑張っていました。半月過ぎた頃、「さみしい」と言葉にしたり、末っ子もお漏らしなどした事もなかったのに、お漏らしをしたりと様々な変化があり、私自身も「子どもたちに留守番をさせたくないけど病院へ連れて行くことも…」と夫に相談。

すると夫の職場の「朝早く出勤し、夕方早く帰る」という制度を利用し、留守番している二人の待つ

ている家へ早く帰ってくれました。

子どもの宿題を見たり、遊んだり、病院へ行く日はその制度を活用させていただくようになりました。

私も本当に助かったことと子どもたちも心の安定をとりもどせ、長男もリハビリを時間を気にせずがんばることができ、大好きな野球チームに戻ることができました。夫がその制度を使おうと提案してくれたことが本当にうれしかったです



## わが社のイクボス部門

子ども 7歳、11歳

ザ・ビッグ菟野店 川會 尚也さん

推薦者 小林 史和さん(部下)

### チームワークで仕事をする中で 意識と環境が劇的に変化!

いつも先に先に進んでみんなが仕事をしやすいようにサポートもしてくれ、悩んでいるときには最優先に時間をつくって話を聞いてくれる川會副店長。

「仕事は終わるまでやる」ではなく「この仕事を何時までに終わらせる。そのためには全員でやらなければ終わらない!さ、やるぞ!」と音頭をとってくれ、今まで「それは私の担当ではない」と言っていたパートさんたちも、皆でやれば効率的に行えることを身をもって体感し、助け合って仕事ができるようになってきました。

これまで「与えられた仕事をこなして時間になったら帰る」という人が多かったのですが、「今日は、

お客様が多いから、1時間残業します。その代わり、別の日、どこかで1時間早く帰ります」といったような声が積極的にあがってくるようになりました。作業効率や、売上予算達成など、今まであまり意識してこなかったパートさんも、イキイキ働くようになりました。その結果、効率的になり、社員の残業も減ってきています。

ご自身は、子どもが小学校を転校しないですむようにと、片道1時間かけて通勤。休みの日には、子どもと野球観戦に行ったり、夏休み中は、昼ごはんを作って、出かけてきたお話をしてくれたり「おとうさん」の姿も教えてくれます。本当に素敵な頼もしい上司です。仕事もプライベートも大切にしている川會副店長は、まさに「イクボス」だと思います。



## わが社のイクボス部門

推薦者 黒武者 潤次さん(部下)

日本政策金融公庫 津支店 田宮 良則さん

### ワークライフマネジメント推進のため、実効性の高い取組を実施!

私のボス、田宮支店長は、仕事と生活における役割を果たしながら、双方の充実をめざして、自分の意志で自分の働き方や生き方を積極的にマネジメントする「ワークライフマネジメント」支援に力を注いでいます。

特に、職員の育児参画支援には積極的に取り組んでおり、支店のトップとして、自らイクボス宣言を実施するとともに、より実効性を高めるため、実際に支店の労務管理を仕切る管理職にもイクボス宣言を推奨し、先だって(8月23日)、支店の管理職全員がイクボス宣言を実施しました。

日々の取組としては、ノーマル残業デー週2日の100%実施(管理職含む)、男性職員の育児関連休暇(合計3日以上)の100%取得、子どもの学校行事や振替休日に合わせて取得する「ファミリー休暇」や、単身赴任者が家族のもとへ帰省する際の「金帰月来休暇」など、支店オリジナルの休暇制度の創設・活用奨励等が挙げられます。

総勢50人弱の組織(支店)ではありますが、田宮イクボス主導の下、地域における男性の育児参画推進先進企業として、これからもさまざまなことにチャレンジしていきたいと思っております。



# みえの育児男子 PHOTO CONTEST

フォトコンテスト



武田 拓也 さん



いつも仲良しな2人。たくさん遊んでくれるパパが大好き。

橋本 和之 さん



寝かしつけの一枚。我が子はパパに寝かしつけてもらうのが大好き♡

大南 孝将 さん



4人目の沐浴。少し危なっかしいけど、我が子は気持ち良さげに入っています。

中尾 賢一 さん



パパが仕事から早く帰ってきた日は、お風呂に入れてもらっています。いつもお風呂から賑やかな笑い声が聞こえてきてホッコリ♡

坂口 徹 さん

お昼寝から目覚めても、寝たふりして抱っこして貰っているところをパチリ!



菅田 英聖 さん



お仕事中のパパに会いに。神社はすっかり新年仕様。そんなパパは夜からがんばっています!がんばれパパ!

辻本 俊平 さん



毎週水曜日ママが仕事の日、面倒見てくれて、お休みが合う日はいつもお出掛けに連れてってくれるパパ。いつもありがとう。



## PHOTO CONTEST

たくさんのご応募ありがとうございました！

AND MORE!!!



**主催** 三重県

**後援** 三重労働局

**協賛** (株)伊賀の里 モクモク手づくりファーム

NEMU HOTEL & RESORT

リマーと  
里創人 熊野倶楽部

**問い合わせ** 三重県健康福祉部子ども・家庭局 少子化対策課

TEL : 059-224-2304 FAX : 059-224-2270

Mail : shoshika@pref.mie.jp